



HIGASHI OSAKA MIDORI R.C

国際ロータリー第2660地区
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日
会 長 木 戸 章 由
幹 事 井 上 善 博
会報委員長 山 村 忠 弘

世界に希望を生み出そう

CLUB WEEKLY

2023-12-07 (第1062回)

今週のプログラム

《12月07日(木) 例会 KKR ホテル大阪 5F「瑞宝」》

◎ 卓 話 「大阪万博について」

表 孝典君

♪本日の歌 「君が代」「四つのテスト」

次回の予定

《12月14日(木) 例会 KKR ホテル大阪 5F「瑞宝」》

◎ 卓 話 「未 定」

北井孝彦君

前回の出席率

《11月16日(木) 例会》

会員数17名 (内出席免除者数7名)

本日の出席者数6名 (内出席免除者数2名)

本日の出席率 50%

*10月26日(木)

会員数17名 (内出席免除者集7名)

例会出席者6名 (内出席免除者数1名)

メークアップ1名 例会修正出席率 63.6%

幹事報告

幹事 井上善博君

◎本日例会後、定例理事会を行います。

◎明日12/8(金)、地区大会一日目です。会長幹事は、RI 会長晩餐会に出席致します。

◎12/9(土)、地区大会二日目は本会議です。場所は、NHK大阪ホールです。

◎米山特別寄付・ロータリー財団の寄付について、出来る限り皆様のご協力をお願い致します。

会長の時間 (11/16)

幹事 井上善博君

皆さん、今晚は。本日は木戸会長が例会に遅れるので、代わりに幹事の井上が会長の時間を担当させていただきます。本日のお昼、久しぶりに他クラブにメークアップをさせていただきました。御堂筋本町RCさんは、二つのRCが合併されて10周年を迎えられ、本当は12/14の周年記念式典パーティーに会長と共に招待されていたのですが、当クラブの今年最後の夜例会と重なっていたため、出席かなわず、お詫びを兼ねて、お祝いを述べにメークアップ致しました。

木村会長はじめ、何人かの知り合いのロータリアンに大変歓迎され、急遽壇上で緊張しながら、お祝いスピーチをさせられる事になりました。会員数48名、当日出席の方約35名と、とても活気のある例会(うらやましい!)で卓話も外部ゲストを招かれ、良いお話でした。吹田にある「はぐくみホーム」は、里親制度を利用し、虐待などの事情により家庭で生

例会場：KKRホテル大阪 Tel：06-6941-1122 例会日時：毎週木曜日 午後6時30分

事務所：〒631-0001 奈良市北登美ヶ丘3-11-30

Tel：0742-55-4869 Fax：0742-51-1067 E-mail midorirc1126@gmail.com



活を送れない子供たちを守っている団体です。児童養護施設とはまた少し違うところで、一般の家庭の方々でもう一度子育てをしたい親世代や、子供に恵まれなかったカップルの方や、様々な方が里親になっておられて、これからの日本を支える子供たちにとって、とても良いシステムだなと感じました！

当クラブが援助している子供食堂も似たような一面があり、あらためて、事業の重要性を認識することが出来ました。やはり、時々他クラブへメンバーシップする事で色々勉強になるなと思ったと同時に、うちの若手の会員さんをどんどん誘って、他クラブの雰囲気や刺激を経験していただきたいなと切に感じたので、ご報告させていただきます！

卓話抄録

『お墓参り』をする姿に、その人の生き様が表れる

山村弘君

今年も残りわずかとなってまいりました。年末年始、実家へ帰省しお墓参りや新年をご家族でござされる方々も多いのではないのでしょうか。

今回、福厳寺（ふくごんじ）ご住職である大愚和尚（だいくおしょう）様が『お墓参り』について述べられていました記事をご紹介させていただきたいと思います。

お墓参りの作法や掃除の仕方よりも、もっと大切なことがあると述べられておられます。

それは一体、どの様なことなのでしょう。

●お墓参りは何のためにする？

誰も一度は『お墓参り』をしたことがあるでしょう。

久しぶりにお墓参りに行くと、墓石の周りに雑草が勢いよく生え、汗だくになりながら

草むしりする。すると翌日には筋肉痛になる、、、なんてこともあるかもしれません。

ところで、なぜ私たちはお墓参りをするのでしょうか？

それは『人間』だからです。と述べられておられます。

死んだ人を墓に埋葬し、『とらう』。

その起源は、ネアンデルタール人がいた時代にまでさかのぼるといわれております。

（ネアンデルタール人とは約20万年前にヨーロッパで出現した化石人類。ホモ=ネアンデルタール人。ドイツのネアンデル渓谷（けいこく）で発見されました。3~4万年前まで生存し、ホモ=サピエンスとも共存しましたが残念ながら絶滅したみたいです。）

イラク北部にあるシャニダール洞窟で発見されたネアンデルタール人の遺骨の前には、数種類の花の花粉も発見されたようです。それは、偶然遺骨の周囲に咲いていたのではなく、誰かがさまざまな種類の花をつみ、明らかな意図を持って遺体に手向けていました。

それはあたかも葬儀をしたかのようで、仲間の死をいたんでいたと推測されます。

一方で、昆虫や動物たちはどうでしょうか。アリは、コロニーの中に生体反応が見られなくなった仲間がいると、巣の外にぽいっと捨ててしまうそうです。

猿などの霊長類は、死んだ子供の遺体を数カ月抱き続ける姿も見られています。

生態によって死のとらえ方はさまざまですが、いずれも死んだものを墓に埋葬し、とらうまではしません。さらに自然界では、動物の死骸は跡形も残りません。死骸はほかの動物たちに捕食され、やがて土に還（かえ）るからです。

人間が、死者を埋葬し、とらう行為をするようになったのは、脳の発達によるもので、豊かな感情を持つようになったからのようです。亡くなった人に思い入れがあるからこそ、動物に捕食されてしまわないために遺体を土の中に埋葬し、守ろうとしたのですね。



さらに人間は記憶力や想像力を持つようになりましたから、死んでしまった人の記憶をずっと持ち続けます。肉体はなくなってしまってもなお、その人の存在は自分の心の中に生き続ける。けれど、いつまでも悲しみに暮れていては、日常生活は成り立ちません。

死んでしまった現実を受け入れ、納得し、『決別』しなければならない。その大切な人の死を受け入れる通過儀礼（つうかぎれい）として、葬儀やお墓参りの存在があるのだと、大愚和尚（だいぐおしょう）様は述べられておられます。

●墓に眠る故人は何を望んでいるのか？

今、私たちは現代社会がつくり出した『文化的なもの』にとらわれすぎていると感じます。

例えば、お墓参りをする際は、何をお供（おそなえ）すれば故人が喜ぶか。亡くなった人が好きだったものをそなえるべきか。生前に苦勞をかけたから、大きく立派な墓石を建ててあげたほうがよいのか。

もちろん、それらが全く意味をなさないわけではないといわれています。

しかし大事なのはそこではなく『お墓に眠っている人が、何を望んでいるか』だそうです。

では一体、亡くなった人は何を望んでいるのでしょうか。

●それは、あなた自身の幸せです。

生前好きだった食べ物をどれだけおそなえしても、死んだ人は食べることはできません。

立派な墓石を建てたとしても、死んだ人は見ることができないし、自分が立派な墓石の中に眠っていることさえ分からないのです。

それよりも亡くなった人が望んでいるのは、あなたが朗らか（ろうらか）にすこやかに毎日を暮らしていること。そのための教えが仏教だと述べられておられます。

仏教は本来、死んだ人をともらうための教えではありません。

今を生きる人が苦を手放し、心おだやかに毎日を過

ごすための教えだそうです。

●お仏壇は故人の位牌（いはい）を祭る場所ではない？

実家や祖父母の家などに、お仏壇があった人もいるでしょう。そのお仏壇に、おじいちゃんやおばあちゃんのお位牌（おいはい）が置かれていませんか？

お線香をあげりんを鳴らして、亡くなった人に手を合わせていたのではないのでしょうか。

本来お仏壇とは、信仰（しんこう）の対象として仏さまをお祭りする場所だそうです。

宗派によって祭られる仏さまは違うようですが、必ず真ん中にご本尊さまがいらっしゃるって、基本的にはお釈迦（しゃか）さまをお祭りするようです。

そう、おじいちゃんやおばあちゃんの位牌（いはい）は、お仏壇の中に『置かせていただいている』わけで、もともとはお仏壇と亡くなった人は関係がなかったようです。

しかしながら現代では、宗教観も変化しつつあるようです。

亡くなったご先祖さまへの敬愛という祖先崇拜（そせんすうはい）と結びつき、仏教が葬祭（そうさい）に関わるようになりました。

人が亡くなると儀式をして、仏の道に従って戒名（かいめい）をつけ、お仏壇の中にお位牌（いはい）を飾り、そして手を合わせる。

結果的には、少しずつ仏の教えにきえしていることになっているのですね。

お仏壇や、お墓参りで、亡くなった人に対して『安らかに眠ってください』と手を合わせる。そのときに必要なのは、繰り返しになりますが、故人が好きだったおそなえ物ではありません。本当に喜ぶのは、手を合わせた人が幸せに生きていること。

『自分は元気で、幸せに暮らしているよ』という姿だそうです。

もしも、幸せに生きられていないとしたら、それ



は自分がエゴの塊（かたまり）だからかもしれません。エゴとは、他人の迷惑を考えず、自分の利益のみを追求する行動や考え方のことをいうみたいです。自分自身が分からず、社会のことが分からず、自分のわがままだけで生きてると、大概（たいがい）周りとの関係もうまくはいかないみたいです。人間関係や、仕事もうまくいかないのは、このエゴによるものが大きいものと大愚和尚（だいくおしょう）様は述べられておられます。

そんな、幸せに生きられていないあなたの姿を見て、亡くなった人は喜ぶのでしょうか。

では、幸せに生きるにはどうしたらいいか。そこで登場するのが仏教だそうです。

お葬式や法事をきっかけとして、お坊さんと関わり、仏の教えに触れる。

自分自身を見直したり、自分の生き方を見直したり、自分のあり方を見直したりしていくうちに、周りとの人間関係も良くなり、心おだやかに生きられるようになっていく。

亡くなった人はその姿を見て、『心おだやかに、豊かに生きているな』と喜ぶと 述べられておられます。

●目に見えない命のつながりを、あなたはどれだけ大事にできているか

墓石の中に眠るご先祖さまたちの中には、会ったこともない人もいますでしょう。

その中の1人でも欠けていたら、自分という存在はこの世に誕生しなかった。

そういった、目に見えない命のつながりを、あなたはどれだけ大事にできているのでしょうか。

これは科学的な視点ではなく、あくまでも葬祭（そうさい）を通じて何十年と多くの家族を見てこられたご住職としての視点だそうです。お墓参りをされている家庭は、子供たちもしっかりと育っていると感ずります。と述べられておられます。

お墓が守られているということは、その人の生活もせいぜんとしていること。

お墓を見れば、人間関係やビジネスがうまくいって

いるかいかないかが分かるみたいです。普段のお墓参りの姿を見ると、その人の『生き様』が分かるようです。

『お墓の掃除をするからビジネスがうまくいく』のではないみたいです。日ごろから目に見えないものに対して敬意を払い、誰が見てようがなかろうが、手を抜かずに入力ができる人だから、ビジネスや人間関係などもうまく回っていくのでしよう。

そうはいつでも、『仕事が忙しい』『お墓が遠方であって、なかなか行けない』

そんな声も聞こえてくるようです。しかしながら本当に忙しいのでしょうか。

ゴルフや飲みに行く時間はあるのではないですか。たった一日さえも予定が空けられないのは、ただ単に行く気がないのだと 述べられておられます。

そこに価値を感じていないだけみたいです。

年末年始、お盆休みでなくてもかまいません。久しくお墓参りをされていない方は、是非一度時間を作って行って下さい。気持ちがいっしょに、気持ちがいいだけではいいみたいです。そこで得られるものは、大きいはずですよ。

というお話で御座いました。

ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

◎ガバナー公式訪問(3クラブ合同例会)にて、会長・幹事よりニコニコへ頂きました。

(11/6) 合計 10,000 円 今年度累計 189,555 円

(11/16) 合計 21,000 円 今年度累計 210,555 円